

北海道算数数学教育会中学校部会会報

すうがく

北海道算数数学教育会
中学校部会発行
<http://hokusuukyou-cyuu.com/>

「第 6 2 回北海道算数数学教育会十勝・帯広研究大会

へのお誘い」

『生きる力』を育てる数学教育実践研究

北海道算数数学教育会中学校部会副会長
札幌市立白石中学校長 豊田 裕而

こんにちは。北海道の算数数学教育に主体的に携わっている皆さん、いかがお過ごしでしょうか。今年度中学校部会副会長をさせていただくこととなりました豊田です。よろしくお願ひします。

さて、昨年来の教育をめぐる動きはめまぐるしいものがあります。その中でも特に昨年成立いたしました教育基本法とその関連 3 法案の一部改正があります。

特に教育再生会議と中央教育審議会の動向及びその後告示されるであろう学習指導要領の改正がどのようになされるのか。教育関係者は固唾をのんでその行方を見守っているところです。このように、国の動向はかなり差し迫ったことになってきているのが現状です。

しかし、そのようなことはともかく日々生徒たちと数学の授業を通して教育実践を積み重ねている私たちにとって大切なことは生徒に「数学の分かりやすい授業」、「『生きる力』の育成」などが重要なことと考えられます。これまでの中央教育審議会の審議経過報告の「理数教育の充実」中に表現されている「算数的活動、数学的活動の楽しさや数学的な見方や考え方のよさを具体的に示すことなどで、算数・数学を学習することの意義を子どもが実感できるようにすることが大切である。」と述べております。そしてその骨格となる力として、「自ら学び、自ら考える力」という力の育成にとり、数学教育において重要とされる論理的な思考力や自己の考えをまとめた

り、他者に伝えたりできる力が特に重要であり必要であるとされています。

そのように押さえてみますと、これからの数学教育の方向や現在の教育実践を平成 12 年度から北数教が「未来を開く算数・数学教育の創造」という全体の研究主題のもとで、中学校部会としては部会研究主題を「『生きる力』を育てる数学教育の実践」として授業などを通じて研究し実践を積み重ねてきたことと同一のことであり、私たちの追究している方向が決して間違っていないということの証左といえるものです。時代はこれまでとは比較にならないほどの速さで激しく変化しています。そんな中であって私たちは教育における不易なことがらともいえることを大切にしながら手を携えて研究実践にがんばっていきましょう。

さて、今年は十勝・帯広大会ということで「第 62 回北海道算数数学教育会研究大会」が 10 月 19 日（金）、20 日（土）の両日にわたって行われることになっております。19 日については、3 つの特設授業及び 4 つの領域別分科会を予定しております。20 日には、講演会を計画しております。現在、当地においては研究大会の実施へ向けて運営等の準備を鋭意進めていただいております。多くの先生方の参加を得ながら研究討議を充実させていくことでさらに進歩や発展が望まれることになるかと思ひます。互いに声をかけ合い、多くの先生方が集まって研究討議を充実したいと考えます。よろしくお願ひいたします。

十勝 帯広大会を迎えるにあたって



北海道算数数学教育会第62回十勝 帯広大会運営副委員長

鹿追町立鹿追中学校長 平野 公規
帯広市立帯広第三中学校長 川上 松美

盛夏の頃となりましたが、北海道算数数学教育会会員の皆様におかれましては、1学期も終了し、2学期に向けて教材研究や校務整理などに努められていることとご推察申し上げます。

今日、学校教育においては教育改革が最終の段階となる中で、その大局的な流れを理解し、教育の不易と流行を見失うことなく、中・長期的な教育計画の下で、基礎・基本の確実な定着を図りつつ、自ら考える力をはぐくむことが強く求められております。

このような中であって、各学校においては、生徒の興味・関心や習熟の程度に応じた指導、数学的活動を積極的に取り入れ、数理的な処理のよさを実感させるための繰り返し指導等を通して、論理的な思考力や問題を解決する能力などを高める数学教育の充実に努めていることと思います。

さて、十勝で開催される62回目を迎える本大会は、中学校としては当管内初めての発表の場ではありますが、開催地としてこれまで北数教が積み上げてきた貴重な研究等を踏まえつつ、今日求められている数学教育をさらに一歩でも充実・発展させることが出来ればと願っているところです。

このようなことから、本研究大会の開催にあたっては、十勝の算数数学教育の研究に志を同じくするサークル員の数学に寄せる熱い思いの中で引き受けるとともに、会員が自ら地道に実践していることを発表し、全道の先生方の指導や助言を仰ぐ機会として捉えてお

ります。とりわけ、授業公開を行う幕別町立札内中学校においては、自校の教育活動の一層の充実を願って、先生方のご理解の中で実現したものであり、その真摯な姿勢に管内算数数学サークルといたしましても、心から敬意を表する次第であります。

また、この度の研究大会を引き受けてから開催にあっては、十勝・帯広の数学教育に携わる者が一層連携を図るよい機会となっております。

特に、大会準備にあたっては、小学校・中学校・高等学校3校種からなる実行委員会を組織するとともに、中学校においては、授業部と研究部を組織して、授業や研究発表の在り方について話し合いを続けてきたところで

す。現在、授業公開は、各学年において公開を予定し、研究発表についてもできるだけ多くの発表ができるよう、会員が自校の業務の傍ら一人一人が同じ思いを共有し研究を継続しているところです。

終わりに、本研究大会が会員相互の指導力向上、さらには管内数学教育の充実に役立ち、また全道に実践を発信し、多くの皆様からのご示唆をいただく機会となるよう、残された期間、準備を進めていきたいと考えております。

十勝の野の大地が実りの秋を迎える季節に、多くの皆様がここ十勝・帯広にご参集されますことを心よりご期待申し上げます、歓迎の挨拶といたします。

心からお待ちしております。

「農業王国」であり「お菓子王国」「温泉王国」でもある十勝 帯広へ！



十勝 帯広大会 中学校事務局長
更別村立上更別小学校教頭 宝輪 祐子

いよいよ2ヶ月後に迫ってきた全道大会。楽しみでもあり、一方、少々緊張の度合いが増してきました。十勝・帯広では、授業部の活動を中心に、いろいろな準備を着々と進めているところです。我々の地域の様子を、違う方面でやわらかく紹介したいと思います。

さて、授業の会場校である幕別町立札内中学校は十勝の真ん中あたりに位置し、帯広から数キロのところにあります。近くには幕別温泉、十勝川温泉があり、世界でも珍しい植物性モール泉となっています。肌がしっとりときれいになるので、別名「美人の湯」とも言われており、研究会1日目の後にも、是非入ってみていただきたいと思います。

また、十勝川がもたらした広い平野と日高山脈の雄大な景観とのコントラストの素晴らしさを見る者を圧倒します。豊穡な土地からできる農作物、そしてそれらを材料にしたお菓子がおいしい！有名なお菓子屋さんとしては六花亭、柳月(帯広が本店です)がありますが、どこのお店でも安くておいしいケーキが並んでいます。他には、豚丼(駅の北側に有名なお店があります)もおいしいです。鞍馬なども帯広市内で開催されています。

数学の研修の他に、たくさんのお楽しみもあります。多くの皆様に、十勝・帯広でお会いできることを心から願っているところです。



平成19年度 中学校部会費納入のお願いについて

本会報にも同封いたしました、「中学校部会費納入のお願いについて」ですが、例年10月の研究大会当日に年会費(1,000円)を納入していただいておりますが、今年度からは、この時期から納入をお願いすることとなりました。同封の郵便払込用紙を使って、会費を納入いただきますようお願い申し上げます。納入は郵便局窓口または、郵便局への払込可能なATMをご利用ください。なお、従来通り研究大会当日に納入いただいても結構です。会費を納入済みの方は、誠に恐縮ですが、「既納」である旨を下記連絡先までご連絡ください。

※ご不明な点は、下記までご連絡ください。

〒063-0848 札幌市西区八軒8条西8丁目1-1

札幌市立八軒中学校 國島 孝夫

TEL:011-631-3517 FAX:011-615-6648

e-mail:info@hokusuukyou-cyuu.com

平成19年度 北海道算数数学教育会中学校部会 役員及び事務局員

【事務局】

〒064-0824 札幌市中央区北4条西2丁目1-30 札幌市立向陵中学校 Tel 011-611-4271 Fax 011-615-6907

顧問 武村宏夫 工藤政之 難波信之 小西 穰 小笠原茂 千葉幸治 篠岡静司 高谷 勲 高井 亨 田中稔夫
勝山一二三 寺田雄一 海藤勝雄 有澤隆二 高屋竹仁 林原幸雄 畑 邦彦 菅野誠弘 生富 勝
岸本信夫 石井史典 岩淵昌敏 安田 勉 越後 修 長沼祐三 辻脇征紘 有沢準一 石戸大機 大和田輝雄

副会長 豊田裕而 (札幌市白石中長)

部会長 岡本 勉 (札幌市平岡緑中長)

副部会長 里谷 彰 (札幌市東栄中長)

増子 守 (旭川市春光台中長)

監事 向井原保夫 (札幌市稲積中長)

常任幹事

- [1ブロック] 播磨正典 (小樽市菁園中) 常田拓考 (江別市江北中長)
- [2ブロック] 村田一美 (旭川市桜岡中長) 佐藤 保 (旭川市東光中頭)
- 大澤賢治 (旭川市新町中頭) 山村美勝 (音威子府音威子府中頭)
- 田中義彦 (旭川市常盤中) 千葉雅樹 (旭川市広陵中)
- 本間文敏 (旭川市北星中) 太田 徹 (天塩町啓徳中長)
- [3ブロック] 松原真一 (江差町江差北中頭) 島 義幸 (安平町追分中頭)
- [4ブロック] 井出賀津雄 (帯広市帯広第七中頭) 小竹和彦 (帯広市緑園中)
- [5ブロック] 三橋誠司 (札幌市平岡中長) 庄司達郎 (札幌市厚別南中長)
- 小竹 悟 (札幌市あいの里東中長) 北浦秀樹 (札幌市厚別北中長)
- 石橋徹也 (札幌市羊丘中長)
- 岩田俊二 (旭川市緑が丘中頭)
- 田村浩一 (旭川市東鷹栖中)
- 常盤慎一 (旭川市緑が丘中)
- 佐藤慎吾 (増毛町立増毛中頭)
- 十河人士 (砂川市砂川中頭)
- 高橋謙一 (清水町御影中)
- 藤井洋一 (札幌市藤野中長)
- 武田隆二 (札幌市あやめ野中長)

代議員

- 橋本 裕 (小樽市末広中長) 平 正博 (倶知安町倶知安小長) 沼田 守 (赤井川村赤井川中長)
- 栗原 均 (旭川市忠和中長) 国井真人 (旭川市忠和中頭) 安田順市 (占冠村占冠中長)
- 小野浩一 (旭川市立愛宕中長) 市村昌弘 (中川町中川中頭) 久松武夫 (士別市士別南中頭)
- 長山 浩 (札幌市北都中長) 美馬敦子 (札幌市光陽中長) 佐藤 潔 (札幌市月寒中長)
- 秦 豊治 (札幌市向陵中)

事務局長

山本哲也 (札幌市札幌北中)

事務局次長

佐々木崇博 (札幌市厚別南中) 國島孝夫 (札幌市八軒中) 相原健吾 (札幌市札幌北中)

総務部 部長

秦 豊治 (札幌市向陵中) 副部長 山本哲也 (札幌市札幌北中) 中山勝喜 (札幌市平岡中央中) 齊藤康夫 (教育大附属札幌中)

授業部 部長

相原健吾 (札幌市札幌北中) 副部長 石井貴司 (札幌市厚別中) 部員 和泉明一 (札幌市中島中)

研究部 部長

中山勝喜 (札幌市平岡中央中) 副部長 伊藤道男 (札幌市東栄中)

庶務部 部長

佐々木崇博 (札幌市厚別南中) 副部長 細川敏明 (札幌市向陵中)

部員

新谷和彦 (札幌市北辰中) 佐藤美和子 (札幌市日章中) 吉崎有紀子 (札幌市新琴似中)

川元 藍 (札幌市厚別北中) 菅原 岳 (札幌市向陵中)

会員部 部長

國島孝夫 (札幌市八軒中) 副部長 岡田直也 (札幌市美香保中) 部員 武富みゆき (札幌市もみじ台中)

地区委員

[1ブロック] 石狩地区 常田拓考 (江別市江北中長) 後志地区 佐藤了造 (蘭越町蘭越中長) 小樽地区 未定

[2ブロック] 上川地区 安田順市 (占冠村占冠中長) 旭川地区 増子 守 (旭川市春光台中長) 宗谷地区 未定

[3ブロック] 留萌地区 太田 徹 (天塩町啓徳中長)

渡島地区 未定 函館地区 坂上範夫 (函館市旭岡中長) 桧山地区 松原真一 (江差町江差北中頭)

胆振地区 島 義幸 (安平町追分中頭) 苫小牧地区・室蘭地区・日高地区 未定

[4ブロック] 空知地区 十河人士 (砂川市砂川中頭)

釧路地区 高倉弘光 (標茶町虹別中長) 根室地区 佐藤弘樹 (羅臼町円別中長) 十勝地区 未定

[5ブロック] 帯広地区 井出賀津雄 (帯広市帯広第七中頭) 網走地区 竹花史康 (斜里町斜里中頭)

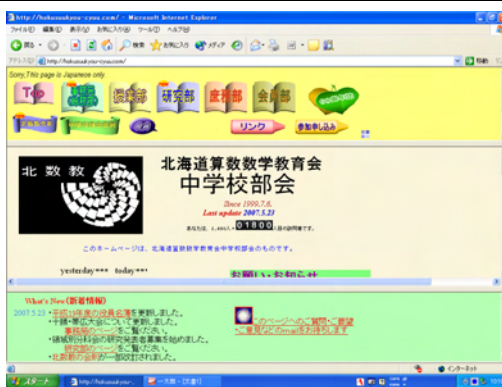
札幌地区 藤澤博之 (札幌市栄町中長)

統括事務局次長 鈴木 康裕 (札幌市宮の森中) 局員 宮本 裕 (札幌市西野中) 上田雅也 (教育大附属札幌中)
三浦敦司 (札幌市明園中) 中澤宏佳 (札幌市東栄中)

北数教中学校部会 ホームページのご紹介

会則をはじめ、北数教のデータを随時更新して
いっております。担当が替わり、気合い十分で取
り組んでいますので、是非ご利用いただけるよう
お願いいたします。

<http://hokusuukyuu-cyuu.com/>



<編集後記>

多くの先生方のご協力により、北数教中学校部会会報『すうがく』の第15号を発行することができました。本号は特に更別小学校の宝輪教頭先生には無理を言って帯広の見所などについて書いていただきました。多くの先生方に大会に参加していただき、是非参考にさせていただきたいと思っております。大変ありがとうございました。(文責：札幌・美香保中 岡田直也)